教科名 音楽科 第1学年評価計画

観点については、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度、とする。

指導題材	観点	題材の評価規準	具体的評価目標	評価方法
旧寺應仍	地	学習評価表	おおむね満足 B	場面
校歌	123	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内	1. 知識・技能	定期試験
		容との関わりについて理解してい	(1)定期試験における、知識に関す	実技テスト
「主人は		る。	る項目の点数	ワークシート
冷たい土		[技]創意工夫を生かした表現で歌	(2)実技テストにおける点数	
の中に」		うために必要な発声,言葉の発音,		
		身体の使い方などの技能を身に付	2. 思考・判断・表現	
「赤とん		け, 歌唱で表している。[思] 音色,	(1)定期試験における、思考・判断・	
ぼ」		旋律,強弱を知覚し,それらの働き	表現に関する項目の点数	
		が生み出す特質や雰囲気を感受し	(2)ワークシートの思考・判断・表	
		ながら,知覚したことと感受したこ	現の項目による評価	
		ととの関わりについて考え,どのよ	C:内容がずれているもの。内容が	
		うに歌うかについて思いや意図を	不十分と判断されるもの。	
		もっている。	B:授業の中で説明した内容や、自	
		[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内	ら理解したことがまとめてあ	
		容との関わりに関心をもち,音楽活	るもの。	
		動を楽しみながら主体的・協働的に	A:B に加え自分の考えが根拠を元	
		歌唱の学習活動に取り組もうとし	に書かれており、内容も十分だ	
		ている。	と判断されるもの。	
四季	123	[知] 曲想と音楽の構造との関わり		定期試験
		について理解している。	3. 主体的に学習に取り組む態度	ワークシート
		[思] 音色, 旋律, テクスチュア, 形	(1)実技テストを元に、授業中の活	
		式を知覚し,それらの働きが生み出	動の様子などから、自らの課題	
		す特質や雰囲気を感受しながら,知	に対して調整しようとする姿	
		覚したことと感受したこととの関	勢を評価する。	
		わりについて考えるとともに, 曲や	(2)ワークシートにおける、テスト	
		演奏に対する評価とその根拠につ	後の自らの学習を調整しよう	
		いて自分なりに考え,音楽のよさや	とする項目の評価	
		美しさを味わって聴いている。	C:内容がずれているもの。内容が	
		[態] 曲想と音楽の構造との関わり	不十分と判断されるもの。	
		に関心をもち,音楽活動を楽しみな	B:授業の中で説明した内容や、自	
		がら主体的・協働的に鑑賞の学習活	ら理解したことがまとめてあ	
		動に取り組もうとしている。	るもの。	
合唱祭に	123	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内	A:Bに加え自分の考えが根拠を元	定期試験
向けて		容との関わりについて理解してい	に書かれており、内容も十分だ	実技テスト
		る。	と判断されるもの。	ワークシート
		[技]創意工夫を生かした表現で歌		

	<u> </u>	
		うために必要な発声,言葉の発音,
		身体の使い方などの技能,全体の響
		きや各声部の声などを聴きながら
		他者と合わせて歌う技能を身に付
		け,歌唱で表している。
		[思]音色, 速度, テクスチュア, 強
		弱,構成を知覚し,それらの働きが
		生み出す特質や雰囲気を感受しな
		がら,知覚したことと感受したこと
		との関わりについて考え, どのよう
		に歌うかについて思いや意図をも
		っている。
		[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内
		容との関わりに関心をもち,音楽活
		動を楽しみながら主体的・協働的に
		歌唱の学習活動に取り組もうとし
		ている。
魔王	123	[知] 曲想と音楽の構造との関わり
		について理解している。
		[思] 音色, 旋律, テクスチュア, 強
		弱を知覚し, それらの働きが生み出
		す特質や雰囲気を感受しながら,知
		覚したことと感受したこととの関
		わりについて考えるとともに, 曲や
		演奏に対する評価とその根拠につ
		いて自分なりに考え,音楽のよさや
		美しさを味わって聴いている。
		[態] 曲想と音楽の構造との関わり
		に関心をもち、音楽活動を楽しみな
		がら主体的・協働的に鑑賞の学習活
		動に取り組もうとしている。
		277 · V() / LL U) C U C (0 0

アルトリ	123	[知] 楽器の音色や響きと奏法との	定期試験
コーダー		関わりについて理解している。	実技テスト
		[技]創意工夫を生かした表現で演	
箏		奏するために必要な奏法, 身体の使	
		い方などの技能を身に付け,器楽で	
		表している。	
		[思]音色, 速度, 旋律, 構成を知覚	
		し, それらの働きが生み出す特質や	
		雰囲気を感受しながら,知覚したこ	
		とと感受したこととの関わりにつ	
		いて考え,どのように演奏するかに	
		ついて思いや意図をもっている。	
		[態] 楽器の音色や響きと奏法との	
		関わりに関心をもち,音楽活動を楽	
		しみながら主体的・協働的に器楽の	
		学習活動に取り組もうとしている。	